

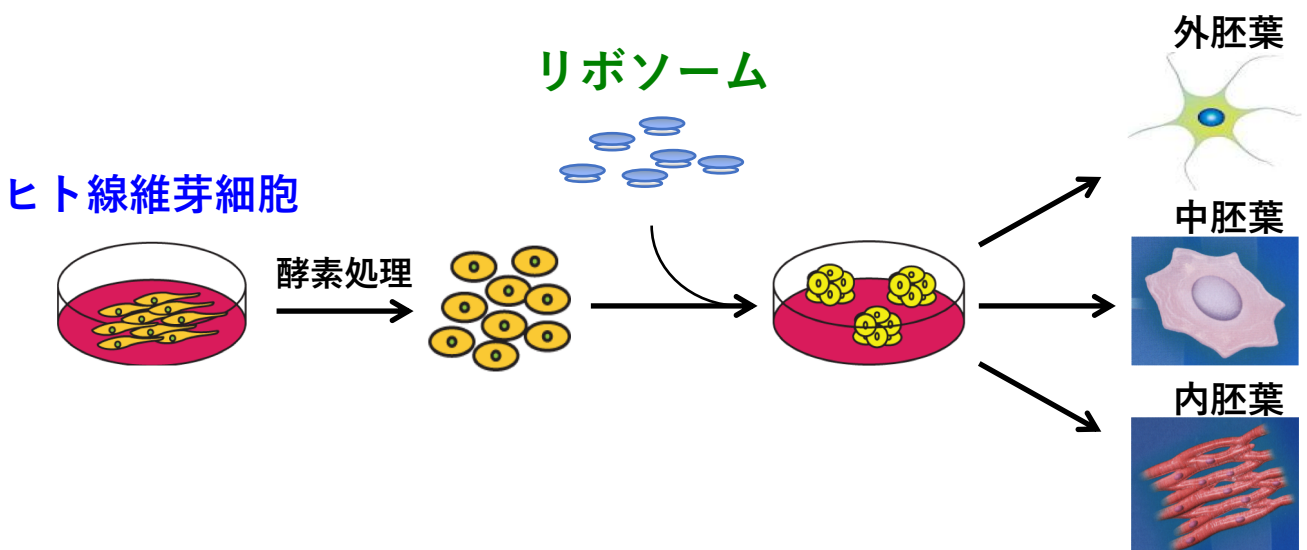
リボソームによる細胞の形質転換機構

講師：太田 訓正 先生

九州大学・基幹教育院・幹細胞生物学分野・教授

日時：2020年6月18日(木) 16:30-18:00

我々は、ヒト皮膚細胞に乳酸菌を取り込ませると、形質転換が誘導され、三胚葉由来の細胞に分化する多能性細胞が作製できることを報告した (Ohta et al., PLOS ONE, e51866, 2012)。興味深いことに、「ヒト成人由来のシュワン細胞は、ライ菌に感染すると多能性を獲得する」という論文 (Masaki et al., Cell, 2013) が発表され、バクテリアが細胞に感染すると、バクテリアは宿主細胞を形質転換し、その遺伝子発現に影響を与え、多能性を付与することが認識されている (Ito & Ohta, DGD, 2015)。その後、様々な生化学的解析により、乳酸菌由来の形質転換物質の実体がリボソームであることを見出した (Ito et al., Sci. Rep., 8:1634, 2018)。本セミナーでは、リボソームによる細胞の形質転換機構についてご紹介する。



世話人：理学研究科生命理学専攻 日比正彦

(内線5198、hibi@bio.nagoya-u.ac.jp)

参加希望者は、事前に連絡してください。Zoom URLをお知らせします。

(理学研究科生命理学専攻博士前期過程の学生：アドバンス生命理学特論1としてNUCTに情報を掲載予定)